

第51回総会ならびに学術講演会予告 (第5回)

学会会員殿

第51回日本産科婦人科学会総会ならびに学術講演会を下記のように開催いたします。

I. 期 日：平成11年4月10日 (土), 11日 (日), 12日 (月), 13日 (火)

II. 会 場：ホテルニューオータニ

III. 日 程：

4月10日 (土)	生涯研修プログラム 評議員会, 総会, 懇親会
4月11日 (日)	教育講演, 会長講演, 招請講演, 特別講演, シンポジウム
4月12日 (月)	一般演題 (口演・ポスターセッション・ インターナショナルセッション)
4月13日 (火)	一般演題 (口演・ポスターセッション) 国際ワークショップ

IV. 招請講演

アラキドン酸カスケード—最近の進歩から—

演者 大阪バイオサイエンス研究所所長 早石 修 君

医学と医療のはざま

演者 国際基督教大学教授 村上陽一郎 君

V. 特別講演

生殖内分泌学におけるパラダイム・シフト

演者 和歌山県立医科大学教授 仲野 良介 君

VI. シンポジウム

シンポジウム1 卵巣がん化学療法の基礎と臨床

座長 慶應義塾大学教授 野澤 志朗 君

佐賀医科大学教授 杉森 甫 君

演 者 (五十音順)

卵巣がん化学療法における薬剤耐性と細胞内シグナル伝達機構

東京慈恵会医科大学講師 礒西 成治 君

卵巣がんにおける薬剤耐性の分子生物学的解析および

耐性の in vivo 評価方法に関する研究

日本大学助教授 坂元 秀樹 君

卵巣がん化学療法の効果増強のための工夫—CDDP の有効な投与法,

病理組織型に対応した化学療法レジメンの個別化, 及び

ネオアドジュバント療法の導入

癌研究会附属病院医長 清水 敬生 君

卵巣癌細胞のアポトーシス抑制に関与する遺伝子群を標的とした

新しい癌化学療法の基礎的研究

京都大学助手 万代 昌紀 君

シンポジウム2 母子間免疫応答の異常

座長 東海大学教授 牧野 恒久 君

関西医科大学教授 神崎 秀陽 君

演 者 (五十音順)

抗リン脂質抗体症候群における母児相関

東海大学助手 杉 俊隆 君

胚により感作された末梢血リンパ球の胚着床促進機構の解析

—ヒト着床障害患者に対する新しい免疫療法を目指して—

京都大学助手 中山 貴弘 君

母体リンパ球の Th1/Th2均衡と活性化異常からみた妊娠異常の解析

日本大学講師 早川 智 君

母児間の免疫応答系の異常からみた妊娠中毒症ならびに

子宮内胎児発育遅延の病因病態

東京大学講師 藤井 知行 君

VII. 教育講演

腫瘍マーカーの生物活性と癌の悪性度

山口大学教授 加藤 紘 君

松果体と女性性機能

高知医科大学教授 相良 祐輔 君

妊娠中毒症の臨床像と病態生理

奈良県立医科大学講師 山崎 峰夫 君

形態からみた卵管機能

日本大学助教授 津端 捷夫 君

VIII. 会長講演

生殖医療とプロメティウスの火

日本大学教授 佐藤 和雄 君

IX. 生涯研修プログラム

1. レクチャーシリーズ

- | | | |
|------------------------|----------|---------|
| 1) 外来診療におけるホルモン異常の取り扱い | 日本大学講師 | 栃木 明人 君 |
| 2) STD の現状と取り扱い | 愛知医科大学講師 | 岡本 俊充 君 |
| 3) 婦人科癌治療の病診連携 | 久留米大学教授 | 西田 敬 君 |
| 4) 環境ホルモン汚染と問題点 | 東京大学助教授 | 堤 治 君 |
| 5) 耐性菌感染の取り扱い | 江東病院顧問 | 松田 静治 君 |
| 6) ターミナルケア医療 | 賛育会病院院長 | 川越 厚 君 |
| 7) Evidence と臨床試験 | | |

東京医科歯科大学難治疾患研究所臨床病理学助教授 津谷喜一郎 君

8) 21世紀の医療システムと医療管理

三菱化学生命科学研究所主任研究員 棚島 次郎 君

9) インフォームド・コンセントは如何にあるべきか？

京都女子大学宗教文化教授 星野 一正 君

2. クリニカルカンファランス

1) 多胎妊娠の予防と周産期管理

- | | | |
|---|--------------------|---------|
| ① | 昭和大学講師 | 田原 隆三 君 |
| ② | 宮崎医科大学周産母子センター助教授 | 鮫島 浩 君 |
| ③ | 埼玉県立小児医療センター内科第1部長 | 大野 勉 君 |

2) 早産の予防・予知・診断, Tocolysis の有効性と限界

- | | | |
|---|-------------------|---------|
| ① | 埼玉医科大学総合医療センター助教授 | 竹田 省 君 |
| ② | 福島県立医科大学助手 | 藤森 敬也 君 |
| ③ | 名古屋大学周産母子センター助手 | 板倉 敦夫 君 |

3) 子宮外妊娠の取り扱い

- | | | |
|---|-----------------|---------|
| ① | 山王病院院長 | 井上 正人 君 |
| ② | 東北大学周産母子センター助教授 | 深谷 孝夫 君 |
| ③ | 長崎大学助手 | 藤下 晃 君 |

4) HRT の功罪

- | | | |
|---|-----------------------|---------|
| ① | 川口市立医療センター部長兼周産期センター長 | 栃木 武一 君 |
| ② | 東京大学講師 | 矢野 哲 君 |
| ③ | 徳島大学助教授 | 鎌田 正晴 君 |

5) 女性の栄養と運動

- | | | |
|---|--------------|---------|
| ① | 都立広尾病院部長 | 飯塚 貞男 君 |
| ② | 東京大学発達医科学助教授 | 福岡 秀興 君 |
| ③ | 聖路加国際病院医長 | 伊藤 博之 君 |

6) 婦人科細胞診の実施と評価

- | | | |
|---|--------------|---------|
| ① | 山梨県立中央病院主任医長 | 寺本 勝寛 君 |
| ② | 慶應義塾大学講師 | 青木 大輔 君 |
| ③ | 杏雲堂病院副院長 | 杉下 匡 君 |

7) 婦人科画像診断の特異性

- | | | |
|---|--------------|----------|
| ① | 京都大学映像医療学助教授 | 富樫 かおり 君 |
| ② | 杏林大学助教授 | 高橋 康一 君 |
| ③ | 日本医科大学教授 | 石原 楷輔 君 |

3. クリニカル・コンパス

1) 子宮内膜増殖症, 前癌病変の取り扱い

- | | |
|-------------|---------|
| 岩手医科大学教授 | 利部 輝雄 君 |
| 杏林大学病理学教授 | 坂本 穆彦 君 |
| 山口大学助教授 | 沼 文隆 君 |
| 京都府立医科大学助教授 | 山本 宝 君 |
| 大阪医科大学講師 | 植田 政嗣 君 |
| 近畿大学講師 | 山本嘉一郎 君 |
| 金沢大学助手 | 京 哲 君 |
| 東京厚生中央病院医員 | 大谷 香 君 |

2) PROM の取り扱い

- | | |
|-----------|---------|
| 聖隷三方原病院部長 | 宇津 正二 君 |
| 北海道大学助手 | 岸田 達朗 君 |
| 北里大学小児科講師 | 小口 弘毅 君 |
| 九州大学助手 | 佐藤 昌司 君 |
| 日本大学講師 | 高木健次郎 君 |
| 秋田赤十字病院部長 | 平野 秀人 君 |
| 大阪警察病院医長 | 下屋浩一郎 君 |
| 帝京大学助教授 | 山本 樹生 君 |

X. 国際ワークショップ (第6回日韓カンファランス)**1. Topics of cervical cancer**

Chairman ; Sung-Bong Hong, M.D., Professor Emeritus, Seoul

Co-chairman ; Rikuichi Izumi, M.D., Professor Emeritus, Toyama

The role of neoadjuvant chemotherapy in cervical cancer

Hyo-pyo Lee, M.D.,

Professor and Chairman, Seoul National University

Factors predicting the tumor response to neoadjuvant chemotherapy
in cervical cancer

Ikuo Konishi, M.D.,

Associate Professor, Kyoto University

2. Topics of endometrial cancer

Chairman ; Doo-Sang Kim, M.D., Professor Emeritus, Seoul

Co-chairman ; Yutaka Tomoda, M.D., Professor Emeritus, Nagoya

Biological factors affecting the prognosis in endometrial carcinoma

Jae-Wook Kim, M.D.,

Professor and Chairman, Yonsei University

Molecular events in cell-growth, invasion and metastasis of endometrial
cancer

Masaki Inoue, M.D.,

Professor and Chairman, Kanazawa University

3. Topics of ovarian cancer

Chairman ; Seung Jo Kim, M.D., Professor, Kangnam St. Marys
Hospital College

Co-chairman ; Michiaki Yakushiji, M.D., Professor, Kurume University

Genetic markers related to ovarian carcinogenesis

Jung-Eun Mok, M.D.,

Professor and Chairman, Ulsan University

Alteration of genetic expression during acquisition of drug resistance
in human ovarian carcinoma

Yoshihiro Kikuchi, M.D.,

Associate Professor, National Defense College

XI. 一般演題応募要項

発表の形式には口演・ポスターセッション・インターナショナルセッション (IS) があります。下記の要領で募集し、採否は平成10年12月5日の理事会で決定されます。なお、ISについては別項を参照のうえ応募して下さい。

今年度よりの変更点は以下の通りですのでご注意ください。

- ・機関ごとの演題数制限の撤廃 …………… 関連：2. 2)
- ・講演要旨(A)のチェックリストの記入 …………… 関連：2. 9) (7)
- ・講演要旨(A)と演題申込書(B)を並べたコピー …………… 関連：2. 5) (2)
- ・フロッピーディスクの各演題ごとの提出 …………… 関連：2. 6) および 4.
- ・演題分類コード2「分子生物学」の追加 …………… 関連：2. 8)

1. 申込締切日および申込先

平成10年10月5日(月)(当日消印有効)までに所定の用紙を用い、必ず速達書留郵便にて下記宛にお送り下さい。締切日を過ぎた後の応募は受理されません。

申込先 〒173-8610

東京都板橋区大谷口上町30-1

日本大学医学部産婦人科学教室内

第51回日本産科婦人科学会事務局

TEL：03-3972-8111 (内2522)

FAX：03-3972-9612

2. 一般演題の申込み上の注意

1) 演題内容

- (1) 申込みの時点で結論が明確であり、かつ未発表のものに限ります。
- (2) 倫理面を十分に考慮した研究について応募して下さい。とくに生体または生体材料等を用いたり、臨床試験を行う場合など、倫理上の問題が生じる可能性がある研究には、「インフォームド・コンセント」「所属機関の倫理委員会の承認」などを得た旨を講演要旨(A)本文中に必ず明記して下さい。倫理的な内容も採否の審査対象となります。

2) 機関ごとの演題数制限

1 機関から応募演題数の制限はありませんが、複数演題を応募する場合は、口演演題応募数は1機関からの応募演題数の半数以下として、内容が互いに重複してはなりません。ただし、演題を2機関以上の連名で応募した場合は、各機関それぞれの応募数として数えます(例：1題の場合は口演・ポスターいずれでも可、3題の場合は口演は1題以内)。

この場合、1機関は1部局とし、産科婦人科(教室)と別の診療科(教室)

は別機関とします。ただし、産科婦人科(学)に関して複数の診療科(教室)や分院を有する場合はそれらを含めて1機関とし、当分の間、医療短大および分娩部は産科婦人科(教室)と同一機関とみなします。

3) 多施設共同研究

多施設による共同研究で、演題応募の分類を「多施設共同研究」とした場合、その応募演題は各機関の演題数には含まれません。「多施設共同研究」として特別に応募できる演題は、当分の間、次の条件を満たす演題に限ります。

- (1) 5施設(機関)以上が参加し、診断法・予防法・治療法を解明することを目的とする臨床研究であること。多施設から臨床検体(血清・組織など)を集め、検査するだけの研究は含まれません。
- (2) 応募時に研究プロトコルを提出することが義務づけられ、講演要旨と研究プロトコルで「多施設共同研究」としての応募資格・内容が審査されます。
- (3) 演者、責任者および各参加機関の代表者は本学会会員であることが必要です。
- (4) 1研究プロトコルでの応募は1題に限られます。
- (5) 多施設共同研究は口演またはポスターセッションでのみ応募可能です(ISでの応募はできません)。

4) 演者

1演者(発表者)が申込める演題数は「多施設共同研究」も含め1題のみです。ただし、共同演者として他の演題に名を連ねることはできます。

演者、共同演者ともに申込みの時点で本学会会員であることが必要です。連名で申込む場合に注意して下さい。

「多施設共同研究」とした場合、演者の所属機関が責任者の所属機関と同一である必要はありません。

5) 申込用紙

- (1) 申込みには機関誌50巻8号に綴込んである所定の用紙(A, B, C)を使用して下さい。その際、演題選考用に、所属機関名・演者名を含まない講演要旨(A)のコピー(所属機関名・演者名の部分を白紙で覆ってコピーする)6部を必ず添付して下さい。
- (2) これらの他、演者・所属機関整理用にB4サイズ of 用紙を縦にして、講演要旨(A)を本体左側に、演題申込書(B)を右側にしたコピーを3部添付して下さい(例1参照)。
- (3) 「多施設共同研究」では、必ず研究プロトコルも提出して下さい。
- (4) 申込用紙がさらに必要な場合には、上記事務局に連絡して下さい。

B, C 面 (ビデオ有・無) に○で示して下さい。ただし、諸般の事情により変更されることもあります。

8) 演題分類の選択

発表を希望する主題群 (演題分類) は該当するものを演題申込書 (B) 下部の各コードより一つずつ選んで A, B 面上段に記入して下さい。演題分類はプログラム作成上の都合で希望項目から変更される場合があります。

なお、本年度よりコード 2 に「分子生物学」が追加されます。

9) 講演要旨 (A) (IS の場合 (1)～(3) については別項参照)

以下の項目が守られていない場合は失格となりますので注意して下さい。

- (1) フォトコピーによって抄録集に掲載されますので、黒インク、5号明朝体活字の和文タイプを使用し、1行22字詰で必ず枠内に記入して下さい。ワープロを使用する場合には10ポイント明朝体で、高品質文字に限ります。指定した行間を詰めたり、斜線部分に記入してはなりません。
- (2) 本文は700字 (1行22文字, 32行) 以内にまとめ、[目的], [方法], [成績], [結論] の4項目に分けて、この順に記入して下さい。ただし、完全症例の場合は4項目に分ける必要はありません。
- (3) 漢字, ひらがな, カタカナは1文字として、数字, 欧単語のアルファベット, 記号, スペースなどは1/2文字として数え、またそれに相当する大きさの活字を使用して下さい。
- (4) 本文に図表, 写真を入れないで下さい。
- (5) 所属機関名, 演者名を伏せて選考しますので、演題あるいは本文中に具体的な機関名, 演者名を記入したり、それらを明らかに想定できるような内容を記述してはなりません。
- (6) 「多施設共同研究」の場合は、研究組織名, 代表機関名, その他の参加機関数, 責任者名, 演者名だけを記入して下さい (例2参照)。

(例2)

所属 →
機関名
演者名

東日本卵巣癌治療共同研究グループ (東西大他	
12機関, 責任者: 大川一美)	
吉野俊夫	

(7) チェック項目を確認の上、必ずチェックリストに記入して下さい。確認していないものは失格になる場合があります。

10) 演題申込書 (B)

- (1) 連絡先、演題のほか、演者、共同演者の氏名、フリガナ、所属機関名、会員コード番号を記入して下さい。
- (2) 「多施設共同研究」の場合、演者名、責任者名の所属機関名に加え、すべての参加機関名および各機関の代表者名を会員コード番号とともに記入して下さい。12名を超える場合は、演題申込書 (B) をコピーして使用して下さい。
- (3) 会員コード番号が記入されていない申込書は受理されません。ただし、申請中の場合は「申請中」と記入し、地方部会発行の領収書（または地方部会宛の郵便局、銀行発行の振込金受取書）のコピーをともに送付すれば受理されます。

11) 受取書・採否通知書 (C)

- (1) 受取書と採否通知書の両方に演題名を記入して下さい。
- (2) 受取書と採否通知書の両方の裏面に申込者の住所・氏名を記入し、切手を貼って下さい。

12) 内容変更

申込み受付後の演題名、発表演者名あるいは内容の一部などの変更は、原則として認められません。

13) 所属機関名表示方法

機関名（大学、病医院、診療所、センター、研究所など）は、可能な限り略式に表示し、機関ごとに表示法を統一して下さい。

- (1) 「大学」は〇〇大のように、また「医科大学」は医大と略します。「医学部」は省略して下さい。
- (2) 固有の機関名は原則としてそのまま記しますが、略称が慣用化されている場合には略称を用いて下さい。ただし、機関名に含まれる都道府県名や都市名は短縮しないで正式名を用いて下さい。
- (3) 財団法人、社会福祉法人、医療法人などの名称は、それを付記しなければ他の機関と区別し難い場合などのほかは省略して下さい。
- (4) 産婦人科、産科、婦人科、母子科、周産期科などの場合は部科名を略し、それ以外（小児科、中検、病理など）の場合は部科名まで記入して下さい。
- (5) 私立病院、個人病院、医院の場合は、「東京・〇〇病院」のように地名（県庁所在地は都市名、それ以外の場合は県名）を記入して下さい。

3. IS 申込み上の注意

- 1) 発表形式はポスターセッションと同様ですが、発表言語は英語とします。
- 2) 外国人留学生も本学会会員であることが必要です。
- 3) 一般演題に含まれる国内からの演題（国内演題）とは別に、国外からの演題（国外演題）も募集しますが、国外演題とは、演者および共同演者全員が外国施設のみに籍を置く外国人研究者である演題を指します。国外演題では会員資格を問いません。
- 4) 応募に際しては、一般演題共通の講演要旨（A）、演題申込書（B）、受取書・採否通知書（C）を用い、A のすべて、および B、C の演題名は英語でシングルスペースでタイプして下さい。
- 5) 講演要旨（A）の本文は、[Objective(s)], [Methods], [Results], [Conclusion (s)] に分けて記入して下さい。

4. フロッピーディスク（FD）作成上の注意事項

- 1) すべての応募者は下記の様式による FD を 1 演題につき 1 枚同封して下さい。また、FD は返却しませんので、必ずファイルのコピーを各個人で保存しておいて下さい。
- 2) 機種は DOS でも Macintosh でもかまいませんが、FD は MS-DOS で 1.44 MB にフォーマットした 3.5 インチのものを使用して下さい。
- 3) ファイルは＜注意事項＞の書式に従って作成し、テキストファイル形式で FD に保存して下さい。

* 以下の OS・機種を使用している場合には、標準では MS-DOS 1.44MB フォーマットの FD に対応していませんのでご注意ください。

- ・ Macintosh OS7.x より古いもの
- ・ NEC9801シリーズのほとんどの機種、NEC9821シリーズの一部機種（詳しくはマニュアルでご確認下さい）

- 4) FD にはラベルを貼り、発表形式、分類コード、演題名、発表者の氏名、所属、テキストファイルを作成したコンピューターの機種名を（例3）のように記入して下さい。FD は 1 演題につき 1 枚とします。事務局にて受付番号が記入できるよう、ラベルの 1 行目は必ず空白にしておいて下さい。

(例 3) FDラベル記入例

口演
分類コード2,2
Microvilli core protein Ezrin
の子宮体癌.....
大山太郎
東西大
Power Macintosh 7200/120

※ 1 行空白にして
おいて下さい

※ 誤消去防止のため
裏面のプロテクトを
下げておいて下さい

<注意事項>

抄録原稿は、

ビデオ有無 改行 [有りの場合には 1, 無しの場合には 2 を入力する]改行発表形式 改行 [口演・ポスター・IS のいずれかを入力する]改行分類コード 改行 [分類コード 1 と 2 は半角のコンマで区切る]改行演題名 改行改行所属機関名 改行 [複数施設の場合には半角のコンマで区切り, 施設名の前に
半角で連続番号を入力する]改行演者名 改行 [連名の場合には半角のコンマで区切り, 氏名の後に対応する
施設番号を半角で入力する]改行

抄録本文

の順に入力し、a.txt (すべて半角の小文字) というファイル名でテキスト形式で保存して下さい。飾り文字 (上付け, 下付きなどの添え字, 強調文字, アンダーライン, イタリック等), 特殊文字 (外字, ローマ数字, ①②など) は使用できませんので, 表記には工夫を加えて下さい (例えば $H_2O \rightarrow$ 水)。抄録本文中には, タブ, 改行を入れないで下さい。

連絡先, フリガナ, 会員番号のテキストファイルへの入力は不要です。

(例 4)

入力例

1

口演

2, 2

Microvilli core protein Ezrin の子宮体癌の浸潤・転移における意義

1 東西大, 2 東京・南北病院

大山太郎 1, 富士和子 2

〔目的〕 Ezrin (Ez) は、membrane-cytoskeleton linking protein である Ezrin-radixin-moesin family の一つである。Ez は tyrosine kinase の基質で、その機能は

5. 送付書類一覧

- 1) 講演要旨 (A)
- 2) 演題申込書 (B), および受取書・採否通知書 (C) (切り離さないで下さい)
- 3) 所属機関名と演者名を含まない講演要旨 (A) のコピー 6 部
- 4) 講演要旨 (A) を左に, 演題申込書 (B) を右に並べて B4サイズ縦の用紙にコピーしたもの 3 部
* コピーは 2 種類で合計 9 枚となります。
- 5) フロッピーディスク (ラベル貼付のこと)
* 今回から新しく送付して頂くことになりました。

XII. 評議員会・総会

平成11年4月10日(土)に予定しております。

XIII. 学術講演会参加の事前登録について

学術講演会に参加される方は、後日、本誌に挿入する所定の振替用紙を用いて、できるだけ事前に、個人別に登録して下さい。

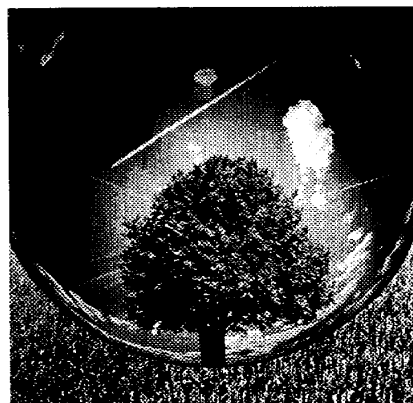
XIV. 懇親会について

平成11年4月10日(土)に予定しております。事前登録の際、多くの方からご予約を頂きたいと存じます。詳細は後日お知らせいたします。

XV. その他については、決定次第お知らせいたします。

平成10年10月

日本産科婦人科学会会長 佐藤和雄



セフェム系抗生物質製剤
 (指) **プロアクト®**
 (要指)
静注用
 日抗基 注射用硫酸セフピロム 略号 CPR

■薬価基準収載

■「効能・効果」、「用法・用量」、「使用上の注意」については、添付文書をご参照下さい。

[資料請求先] 塩野義製薬株式会社 医薬情報本部 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12-4

輸入:

ヘキスト・マリオン・ルセル株式会社
 〒107-8465 東京都港区赤坂二丁目17番51号

発売元:



シオノギ製薬
 大阪市中央区道修町3-1-8 〒541-0045